

チーム	校名	試合数	得点	失点	打数	安打	打率	犠打	盗塁	失策
青森山田	青森山田	11	59	28	322	106	.329	26	23	5
	八学光星	8	54	14	277	91	.329	25	6	7
八学光星	堀井上	54	231	51	46	31	15			
	堀井上	22	95	19	10	13	7			
	三漆	12	53	15	8	3	3			
	三漆	4	18	5	0	1	3			
青森山田	堀井上	54	231	51	46	31	15			
堀井上	22	95	19	10	13	7				
三漆	12	53	15	8	3	3				
三漆	4	18	5	0	1	3				
青森山田	堀井上	54	231	51	46	31	15			
堀井上	22	95	19	10	13	7				
三漆	12	53	15	8	3	3				
三漆	4	18	5	0	1	3				
青森山田	堀井上	54	231	51	46	31	15			
堀井上	22	95	19	10	13	7				
三漆	12	53	15	8	3	3				
三漆	4	18	5	0	1	3				

投手 回数 打者 被安打 奪三振 与四死球 失点

堀井上 54 231 51 46 31 15
堀井上 22 95 19 10 13 7
三漆 12 53 15 8 3 3
三漆 4 18 5 0 1 3

投手 回数 打者 被安打 奪三振 与四死球 失点

堀井上 54 231 51 46 31 15
堀井上 22 95 19 10 13 7
三漆 12 53 15 8 3 3
三漆 4 18 5 0 1 3

主戦と4番筋力強化

青森山田は足を絡めた得点力の高さと、豊富な練習量に裏打ちされた堅い守りが自慢。攻守のバランスの取れたチームと評される。明治神宮野球大会で好投した漆館伊皇(いお)に

昨年秋の76.7%から84.7%に増加。自身も「少しずつ球威が増してきている」と自信を見せる。投手陣では、兜森監督が「投げっぷりが良い」だ。攻撃では、冬場にバワ

治神宮野球大会でも、好投手にも勝つことなく勝負強さを発揮。冬場に5.5kgの体重を増やし、2月の遠征でバウラップが実感できた。この「自分が出塁したとき」は点数が入る確率が高い」と話すのは、1番という打順について「チームの力を存する頭のない」と話している。この「自分が出塁したとき」は点数が入る確率が高い」と話すのは、1番という打順について「チームの力を存する頭のない」と話している。

青森山田

は昨年秋の76.7%から84.7%に増加。自身も「少しずつ球威が増してきている」と自信を見せる。投手陣では、兜森監督が「投げっぷりが良い」だ。攻撃では、冬場にバワ

キーマンとして、守りではエース・堀岡隼人と捕手の村山直也、攻撃は4番の三森大貴と主将で1番に座る内山昂思を挙げ

堀岡は140cm前後の直球と切れのあるライクで、打たせて取る投手が持ち味。これまでは制球を乱す場面も見られたが、「いいリズム、フォームで投げている」と結果は付けている。冬場はウェイトトレーニングに力を入れ、体重

戦力分析

青森山田・八学光星 センバツ出場

2011年夏から3季連続優勝を果たしたチームには、田村龍弘(りゅうこう)と北條史也(しや)が主軸を担っている。近年は能力が突出した選手は少なく、今年も「秀でた選手、スパースターはいない。総合力で戦うチーム」と仰井宗基監督。「勝ち上がるため、全員で戦う」と意識を持って臨みたい」と強調する。

2強 聖地へ

主戦堀井上は昨秋の県大会、東北大会では50回を投げ、失点、防御率は1.98。最速141km/h、コントロールの全てがまた5種類の變化球を操る「甘い」と痛感、ウェイトをとり、打線を盛り上げる。直球、變化球、コ



小濱コーチの指示をじっと聞き入る八学光星の選手たち。全員野球で勝利を狙う。5日午前、八戸市美保野の室内練習場

全員で戦う意識持つ

は1.98。最速141km/h、コントロールの全てがまた5種類の變化球を操る「甘い」と痛感、ウェイトをとり、打線を盛り上げる。直球、變化球、コ

仲井監督が真っすぐのキレがいい。楽しみ」と評するのは、昨秋の両大会で登板はなかったが、冬場に急成長した安藤譲一。「自信のあるス

試合の流れが停滞した場面では、50.75・9秒と俊足が秀げる伊藤優平が足でかき回し、攻撃の糸口をつかむ。奥村幸太主将、小林直輝は昨春のセンバツを経験しており、チームを引っ張る。